

8 月上中旬出荷向けの黄色系コギク新品種「常陸サマーゴールド」

[要約] 「常陸サマーゴールド」は花色が黄色で照り葉である。分枝数、着蕾数の多いボリュームのある品種として、8 月旧盆～盆明けに出荷が可能である。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所

成果
区分

普及

1. 背景・ねらい

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目では産出額が第 1 位、全国においても栽培面積が第 2 位、出荷量が第 3 位のシェアを占め、重要な花き品目となっている。生産現場では、7 月東京盆、8 月旧盆、9 月彼岸の物日出荷に対応するため、100 を超える品種が栽培され、栽培管理の煩雑化が問題となっている。また、民間種苗会社の品種は育成地が県外であるため、本県における需要期出荷が困難であることが多いので、生産現場からは県による育種の要望が高い。そこで、市場から求められている頂点咲きの草姿で、物日出荷に対応できる県オリジナル品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成 15 年に「すばる」の自然交配種子を採種し、得られた 55 の実生個体から選抜した品種である (図 1)。
- 2) 花色は RHS カラーチャートで 3A の黄色で、明るい黄色である (表 1)。
- 3) 季咲きの開花時期は 8 月上中旬であり、「すばる」や「ホタル」よりもやや遅く、8 月旧盆～盆明けに出荷が見込める (表 1)。
- 4) 切花長は「すばる」よりも長く、切花重は「すばる」や「ホタル」よりも重い。分枝数と着蕾数は「すばる」や「ホタル」よりも多い (表 1)。
- 5) 葉は光沢のある照り葉で、白さび病に強い品種である。茎の中下位節から側枝が発生しやすい短所が見受けられる。
- 6) 現地試験における生産者評価は、品種特性を把握できた 2 年目の評価が良好で、3 生産者全てで品種導入の希望である。作りやすさ、切花長、花色、ボリュームの項目で評価が高い (表 2)。
- 7) 市場評価は、花首が長く草姿バランスに劣るため、総合評価がやや低い。しかしながら、花の大きさと、照り葉に明るい黄色が映える特徴が比較的良好である (表 3)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成 22 年 9 月 24 日に品種登録された (登録番号 第 19937 号)。

4. 具体的データ



図1 コギク「常陸サマーゴールド」

表1 コギク「常陸サマーゴールド」の特性（試験年次：平成17～19年、8月作型）

品種 系統	花色 ¹⁾	開花日 (月・日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数 (節)	分枝数 (本)	着蕾数 (輪)	花径 (cm)
常陸サマーゴールド [△]	3A	8.11	93.7	81.9	34.8	13.9	44.7	3.8
すばる	6B	8.2	86.6	75.8	34.6	9.8	33.9	3.9
ホタル	5B	8.2	92.1	61.2	34.6	10.5	16.6	4.2

1) RHS カラーチャートによる。

表2 コギク「常陸サマーゴールド」の生産者評価

調査年	導入希望 有：無	総合 評価	収量	作り やすさ	病害 虫発生	切花 長	花色	花質	茎葉 色	ボリューム	草姿
平成18年	2：1	3.0	3.3	3.0	3.7	3.7	3.3	3.0	3.3	3.3	3.7
平成19年	3：0	3.7	3.3	3.7	3.3	3.7	3.7	3.3	3.3	3.7	3.0

注) 生産者3名による評価。総合評価・作りやすさ・切花長・花色・花質・茎葉色・ボリューム・草姿；1：極劣，2：劣，3：中，4：良，5：極良。収量；1：極少，2：少，3：中，4：多，5：極多。病虫害発生；1：甚，2：多，3：中，4：少，5：無。

表3 コギク「常陸サマーゴールド」の市場評価（平成18年）

総合評価	花色	花の大きさ	花の形	花数	茎葉色	ボリューム	草姿
2.3	3.3	3.3	3.0	3.0	2.7	2.7	2.3

注) 評点は1：極劣，2：劣，3：中，4：良，5：極良。
花き仲卸・加工業者3社による評価。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 本県小ギク産地活性化のためのブランド品種の育成・平成14～平成19年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 2) 新品種育成普及促進事業・平成6年度～・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 3) 新品種育成普及促進事業・平成18年度～・園芸研究所花き研究室